

第3次地域福祉活動計画2カ年延長計画策定にあたって

美馬市社会福祉協議会では、5カ年を推進期間とする地域福祉活動・行動計画を平成20年度からの第1次地域福祉活動計画、平成25年度からの第2次地域福祉活動計画、平成30年度からの第3次地域福祉計画と名付け、地域住民や各種団体の皆さまに参加いただき策定して参りました。推進期間中は、それぞれの計画に沿った地域福祉活動を脇町、美馬、穴吹、木屋平地区の住民の皆さままで構成する実行委員会が中心となり、住民の皆さまとともに展開して参りました。

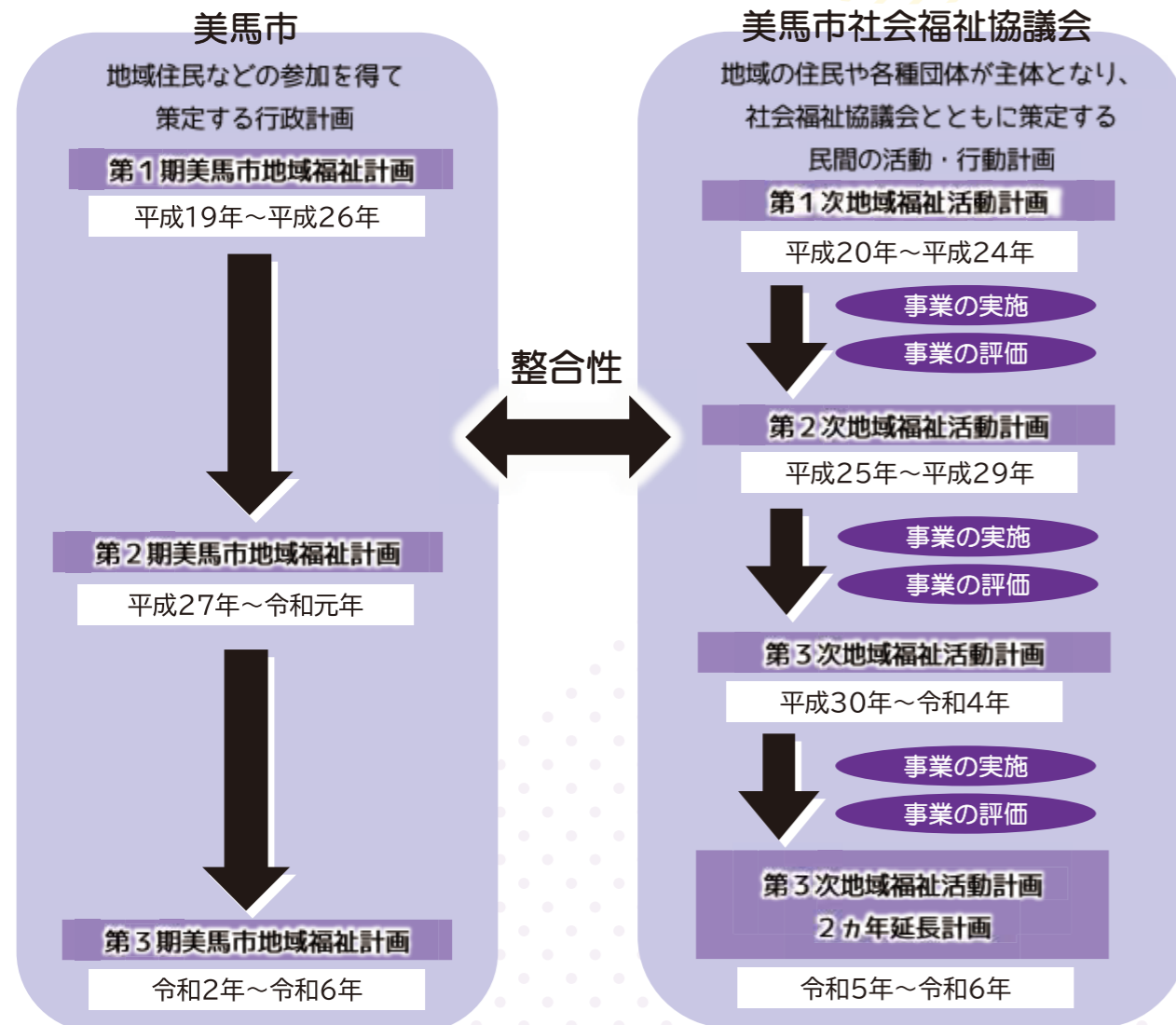
しかし、第3次地域福祉活動計画の推進期間にあたる平成30年度から令和4年度の間に、人と人が互いに距離を取り、接触する機会を減らすこととなり、地域におけるつながりや支え合いが希薄化するなど、深刻さが増し、大きな社会問題となった新型コロナウイルス感染症の出現により、幅広い住民の皆さまに参画いただける行事や活動は縮小せざるを得ず、当初の計画通りの推進ができない状況にありました。

このことから、最終年度にあたる令和4年度に、実行委員の皆さまとともに、第3次地域福祉活動計画の2カ年延長計画を策定いたしました。

今後2年間、引き続き各地区の実行委員会が中心となり、住民主体の地域福祉実現に向けて2カ年延長計画を推進いたしますので、住民の皆さまのご参加、ご協力をお願いいたします。

地域福祉って
何のため？
どうするの？

地域では誰もが尊厳を持って自立した生活を送る権利を有しています。しかし地域では自分の努力だけでは生活を送るのが難しい人が存在します。地域福祉とは、このような人々と共に住民自らが活動を起こして課題解決へと結びつける活動です。



第3次美馬市社協地域福祉活動計画

基本目標	誰が	
	地域住民	社協
目標① 地域リーダーの発掘と育成 (将来に継続できる組織づくり)	実行委員会として、各年齢層の方々に活動に参加してもらう 一人のできること ・地域で自分の生きがいづくりを行う みんなのできること ・実行委員として各年齢層の方々に参加してもらう	自治会内の地域リーダーを作るための仕組みづくりを考える
目標② 安心・安全に生活できる地域をつくる (地域の絆づくり、助け合い活動の推進)	ふれあい・いきいきサロン、小地域生活支援ネットワークの充実・活性化 一人のできること ・隣近所との交流 みんなのできること ・ふれあい・いきいきサロン、小地域生活支援ネットワークの充実と活性化を図る	地域で人と人がつながるようなイベントや交流会を開催し、地域コミュニティを活性化させる
目標③ 災害時に誰も取り残されない地域をつくる (自主防災活動の推進と充実)	要援護者を意識した支えあいマップの見直しや訓練を行う 一人のできること ・他人事とは思わず防災意識をもつ みんなのできること ・要援護者を意識した支えあいマップの見直しや訓練を行う	中高生から高齢者まで参加できる防災訓練の企画
目標④ 一人ひとりが健康を意識する (健康を守る活動の推進)	ウォーキング大会など定期的な運動習慣の推進・啓発 一人のできること ・年に1回は健診を受ける みんなのできること ・ウォーキング大会などの定期的な運動習慣を実行委員会で推進・啓発する	認知症の理解と地域の支え合いを推進する
目標⑤ 環境美化意識とマナーの向上 (環境美化の啓発)	マナー向上のための啓発活動を継続的にを行う 一人のできること ・道に落ちているゴミなどを率先してひろう みんなのできること ・マナー向上のための啓発活動を継続的にを行う	環境やエコに関する講演や勉強会を開催する